

肝臓内科コース

◇ 研修目標

当院での肝臓内科の後期研修の目標は、卒後2年間の初期臨床研修による医療の基本的知識・技術の修得の上に、一人の認定内科専門医として単独で実践できる専門医教育と臨床経験の蓄積である。後期研修は、原則として3年間の研修を予定しており、認定内科専門医の取得を目指すとともに肝臓内科認定医取得に必要な研修を行う。

◇ 肝臓内科の概要

1. 常勤医数 4名
2. 肝臓内科 25床
3. 肝臓内科外来患者数 約54名/日 病院全体 約1,100名/日
4. 内科検査 年間件数
腹部超音波 約6000件 T A E 約250件
肝臓ラジオ波治療 約100件

◇ 年間入院症例数

肝臓内科 約450人 内科全体 約4,000人 病院全体 約13,000人

◇ 研修診療体制

1. 基本的には指導医と共に共同診療体制をとっている。
2. 基本的には3年間の研修とし、当初2年間は内科一般についての研修を行い、特殊検査、手技等を習得し、消化器疾患全体の患者さんに対応できるような研修を行う。その後1年間は各自の希望する研修を行い、肝疾患を重点的に行い、また、各種専門医の取得ができるまでの研修を行い、外来等もできるようにする。

◇ 宿日直

原則として内科系当直を分担し単独で行うが、必要に応じて専門医の援助を求める。

◇ 研究活動・専門医取得

1. 消化器内科・消化器一般外科合同カンファレンスなどに参加し、学会発表、研究論文投稿なども積極的に行う。
2. 日本内科学会認定医制度教育病院であり、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本超音波医学会の研修施設の認定を受けており、各種の専門医の研修が可能であり、専門医取得の資格が修得できる。